

# 【拡充】畜産経営競争力強化支援事業費

## 概要

本県畜産を牽引する競争力の高い経営体を育成するため、意欲ある担い手が行う規模拡大や生産性向上、畜産物の販路拡大等の取組みを支援

予算額：3,964,417千円(令和元年度2月補正含む)

事業期間：平成29年度～令和2年度

## 背景／課題

### 背景

・高齢化等による戸数減少により、畜産生産基盤が弱体化



【戸数】 237戸 (H21比 55%)  
【頭数】 11,200頭 (H21比 80%)  
【産出額】 87億円 (H21比 81%)



【戸数】 664戸 (H21比 66%)  
【頭数】 肥育牛30,710頭 (H21比87%)  
繁殖牛7,690頭 (H21比138%)  
【産出額】 122億円 (H21比89%)



【戸数】 95戸 (H21比 63%)  
【頭数】 154,600頭 (H21比 92%)  
【産出額】 117億円 (H21比117%)

(戸数・頭数はH31.2.1現在の値、産出額はH30の値)

・TPP11、日EU・EPA、日米貿易協定の関税率引下げに伴う畜産物の輸入量の増加

### 課題

- ◆人手不足、担い手不足に対応した
  - ・大規模化による労働生産性の向上
  - ・機械導入による省力化の推進
  - ・ICT技術の活用推進
- ◆国内外の産地間競争に対応できる競争力の強化

意欲ある畜産経営体への効果的な支援が継続して必要

## 事業内容

### <事業実施主体>

営農集団(2戸以上の畜産業者)、農協、市町村等

### <事業メニュー>

#### ① ハード支援(県単)

規模拡大や省力化、生産性向上のための施設整備や機械導入等を支援

- 1) 畜舎等整備支援  
(ICT技術の導入、環境保全対策を含む)  
※中小畜産農家を支援するための要件を追加
- 2) 飼料用米低コスト利用拡大支援  
(飼料用米粉砕機の整備等)
- 3) 飼料基盤整備支援(草地更新、飼料基盤整備)
- 4) 担い手育成等支援(新規就農者等の家畜導入)
- 5) 生産基盤強化支援  
(トップランナーが更なる規模拡大を図る取組み)
- 6) CSF(豚熱)等侵入防止対策[新規]  
(施設整備・修繕、機械等の導入)



#### ② ソフト活動支援(県単)

- 1) 生産性向上技術の導入等支援
- 2) 畜産物・畜産加工品の販路開拓等支援

#### ③ ハード支援(国庫)：畜産クラスター事業

畜舎等の施設整備支援

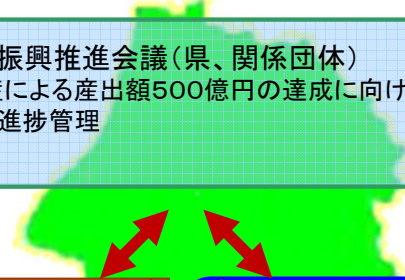
#### ④ 繁殖雌牛能力向上支援

高齢牛を淘汰し、優秀な雌牛を導入することで能力向上を図るための助成

## 事業スキーム

### ◆畜産振興推進会議(県、関係団体)

○畜産による産出額500億円の達成に向けた工程表の作成と進捗管理



### <取組主体>

意欲ある畜産農家等の担い手



### ◆地域畜産振興推進会議

(総合支庁、市町村、関係団体)

- 具体的取組みの検討、進捗管理
- 市町村、JA等との連携による規模拡大や生産性向上に向けた計画づくり及び実施後のアフターフォロー

### 補助金交付の流れ



### <補助率>

- ①ハード支援・②ソフト支援・・・1/3以内  
(但し、市町村等の協調補助を条件として、1/12を上限に上乗せ可能。この場合、市町村等と合わせた補助率は1/2以内)
- ③国庫事業・・・1/2以内
- ④繁殖雌牛能力向上支援・・・100千円/頭(定額)

## 事業目標

・畜産による産出額 447億円(H26) ⇒ 500億円の達成 (R2)

## 問い合わせ先

- 担当課：畜産振興課 畜産振興担当
- 電話：023-630-3351